

第1版第2刷 『記載例でわかる！重症度,医療・看護必要度評価・記録・監査』正誤表

下記のとおり、誤りがありました。巻末の別冊も併せてご確認ください。

P.115 7 救命等に係る内科的治療 ③侵襲的な消化器治療

「判断の手がかり」の「3」を変更 ⇒【別冊：P.29「判断の手がかり」欄】

誤) 3. 対象：悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼術，内視鏡的消化管止血術，内視鏡的粘膜下層剥離術，内視鏡的食道拡張・ステント留置術，食道静脈瘤結紮術，内視鏡的胆道結石除去術，内視鏡的胆道拡張術，内視鏡的胆道・胆管ステント留置術，内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術など。

正) 3. 対象：悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼術，内視鏡的消化管止血術，内視鏡的粘膜下層剥離術，**内視鏡的食道静脈瘤結紮術（消化管止血術に該当する場合のみ）**，内視鏡的胆道結石除去術，内視鏡的胆道拡張術，内視鏡的胆道・胆管ステント留置術，内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術など。